



三ツ石だより

編集・発行

島根あさひ社会復帰促進センター

問い合わせ先

ご意見・ご感想はこちらまで
〒697-0492 浜田市旭町丸原380-15
Tel. 0855-45-8171 (庶務課)

平成29(2017)年

6/1
第22号

御挨拶

島根あさひ社会復帰促進センター
センター長 久野 正道



本年四月一日
付で、島根あ
さひ社会復帰促
進センター長を
拝命いたしました。

た久野正道と申します。

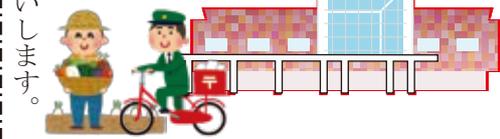
当センターも、平成二十年十月に運営を開始して以来、早いもので、間もなく十年目に入ろうとしています。これも地域の皆さまのご支援の賜物でありまして、心から感謝申し上げます。

これまで、「官民協働」、「地域との共生」、「人材の再生」を基本方針として、民間のノウハウを活用した効率的な施設運営を行うとともに、地域の皆さまの思いから始まった文通プログラム、盲導犬パピー育成プログラム、ホースプログラム、新開団地で行う農作業など、地域の皆さまと共に様々な特徴のある教育プログラムを実施し、新しい形の矯正施設として、着実に前進することができました。

本年度も、これまでの実績を基礎としながら、官民協力して、地域の皆さまと共にさらに発展できるように、微力ながら全力で施設運営に取り組んでいきたいと思っております。

地域行事などで、地域の皆さまと交流する機会も楽しみにしております。

どうぞよろしくお願いたします。



ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
矯正処遇部長 恩田 仁志



本年四月に三重刑務所から異動になり矯正処遇部長として勤務させていただきます。恩田仁志です。

生まれは岐阜県ですが、小さいころから転校の連続で、中部地方を中心に育ちました。自分自身も関東地方と中部地方の施設で初めての勤務となり、更に初めての官民協働の施設での勤務で毎日が手さぐりの状態ですが、当センターの基本方針に則って、少しでも力になれるように頑張りたいと思っております。

これから自治会の交流等でお会いすることもあろうかと思っておりますが、観光やグルメの穴場などご教示願えれば幸いに存じます。どうぞよろしくお願いたします。



ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
経理課長 浅野 起子



本年四月から経理課長として勤務しております。前任は山口少年鑑別所という

小さな施設で、首席専門官(現場の責任者)として子供たちを相手に毎日バタバタと過ごしておりましたが、今回は男子刑務所で仕事内容も施設の規模も何もかも違い、転職したような気分でもとても新鮮な毎日です。出身は広島県の呉市で、夫を自宅へ残しての単身赴任中ですので、週末は帰ることが多いですが、地域の行事にもできるだけ参加できればと思っています。女性幹部が一人だけなのは少々淋しいところですが、あまり構えずに、和気あいあいと楽しく勤務できればと思います。どうぞよろしくお願いたします。

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
処遇首席 千葉 裕輔



本年四月一日付で甲府刑務所から当センターの処遇首席として勤務しております。

出身は北海道です。採用施設は当時誘致より設立された月形町の刑務所であり、当センターも地域の皆様の尽力により設立・運営されていることを考えますと縁を感じます。転勤生活をしようになつてからは主に関東を転々としていましたので、この度の異動が最西端の記録です。

初めてのPFI施設における勤務で規模も大きく、しかもハイテク装備だらけで今は慣れるのに精一杯という状況ですが、官民協働の理念を忘れず、少しでもセンターと地域の皆様のお役に立てるよう努力してまいりたいと思っております。

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
作業首席 岡 肇



この度の異動で首席矯正処遇官(作業担当)を命ぜられ、着任いたしました。

島根あさひには、開設の準備段階からかわり、開設から三年間勤務した関係で、とても印象に残る施設でした。こんなに早く帰ってくる事ができて嬉しい反面、事業開始から十年の折返し点という非常に大切な時期でもありその重責に押潰されそうでした。

しかし、着任後旧今市小学校の満開の「市子桜」に迎えられ、あらためてこの街の素晴らしさに気付くことができました。

開設当時から変わらないこと、大きく変わったこと、新たな試みなど一つひとつを大切に、新たな一歩を踏み出したいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
分類首席 長野 裕明



本年四月から、当センターの分類部門で勤務しております。京都少年鑑別所から参りました。

出身は山口県ですが、関東や関西での勤務が長く、中国地方での勤務は、広島少年鑑別所と当センターの二か所だけです。以前、大阪刑務所や静岡刑務所などに勤務したことがありますが以降、ずっと少年鑑別所を回り、十五年ぶりの刑事施設、しかも初めての官民協働施設ということで緊張もし、また、業務の進め方も慣れないことだらけで、上司や部下に日々教えてもらいながら勤務している状態です。

しかし、そんなことばかり言っているわけにもいきませんので、当センターの矯正処遇、地域との共生のために、わずかでも貢献できるように励んでまいります。よろしくお願いたします。

ごあいさつ

島根あさひ社会復帰促進センター
教育首席 上田 一喜



本年四月一日付で教育首席として転任してまいりました。これまでの勤務は、

東京、大阪管内の少年院、少年鑑別所、刑務所等で、島根県はもとより、広島管内での勤務は当センターが初めてです。日々、地元産の野菜が非常に美味しく、魚も新鮮で感激の連続です。石見地方の文化を十分に吸収しつつ、公私ともに生活を大切にしたいと思っております。

皆様のお力添えを賜り、良い教育活動を模索していきたく存じますので、よろしくお願いたします。



